

当院の胃癌手術の短期術後成績予測における NLR の有用性

1. 研究の対象

2012年1月1日から2019年3月31日に当院で胃癌手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

複数の癌腫において各種栄養指標が予後や周術期成績のリスク因子となる報告が散見される。NLR(好中球/リンパ球比)は採血の白血球数から算出される値であり、術後成績に影響を与える栄養学的指標として有名である。本研究では胃切除の術後在院日数延長のリスク因子をNLRをはじめとする各種栄養指標を含めた臨床病理学的因子から抽出する。

2012年1月から2019年3月に当科で幽門側胃切除術・胃全摘術を施行した症例を対象として、術後在院日数の解析を行い、独立したリスク因子を抽出する。

- 1) 主要評価項目／術後在院日数、術前栄養学的指標 (BMI、リンパ球数、mGPS(modified Glasgow prognostic score)、NLR(好中球/リンパ球比)、PLR(血小板/リンパ球比)) の術後在院日数に及ぼす影響
- 2) 副次的評価項目／背景因子、術前採血結果、手術関連因子、病理学的因子、術後経過因子の術後在院日数に及ぼす影響

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、術前服用薬情報
- 2) 血液検査と血液検査から算出される栄養学的指標
：リンパ球数、mGPS(modified Glasgow prognostic score)、
NLR(好中球/リンパ球比)、PLR(血小板/リンパ球比)
- 3) 手術関連情報：手術術式、手術時間、出血量
- 4) 腫瘍学的因子：病理診断項目、腫瘍径、病理学的 T 因子・N 因子・進行度
- 5) 術後合併症

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 外科 長田寛之